

令和5年2月初日

関係機関、保護者等 各位

障害者支援施設 はまなし寮

寮長 田口 芳樹

新型コロナウイルスのクラスター終息について

平素より、はまなし寮のご利用、ご協力いただきありがとうございます。

1月14日の新型コロナウイルスの寮内発生から始まりましたクラスターですが、寮内において終息となりましたことをご報告いたします。

1月14日（土）に、最初の感染者があり、その後、寮内全体に拡散した新型コロナウイルスですが、2月4日（土）の最終の感染者の観察期間を終了したことで、終息いたしました。寮内は職員、及び委託業者により徹底清掃、消毒が終了し、感染前の生活、支援ができるようになりました。

はまなし寮は、平屋の2人部屋、居室内・廊下の仕切りがカーテンなので、感染症が拡散しやすい建屋構造となっています。コロナ感染症への対策として、一部居室へのドア設置、プレハブ個室などを整備、BCPの作成や職員への感染症研修を繰り返し実施していましたが、感染の拡散が早く、十分に防ぎきれませんでした。結果、入所利用者46名中39名、職員6名が感染し、大きなクラスターとなってしまいました。

入所利用者さんには、居室での長期に渡る生活にご協力いただいた事を感謝いたします。ご家族や通所の利用者さん、関係機関の方々には、ご心配と事業停止のご迷惑おかけしたことをお詫び申し上げます。また、ご協力いただいた山梨赤十字病院、山梨県障害福祉課、富士東部保健所の職員の皆様には、心より感謝申し上げます。

特に今回、山梨県から事前備蓄として支給の、抗原検査キット、防護ガウン、N95マスク、毎週の職員PCR検査実施などが、感染終息に有効に活用できたことをご報告いたします。